

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会 感染症解析評価部会]
(平成13年8月解析分)

1 疾患別定点情報

定点把握(週報)四類感染症

平成13年7月分(7月2日~7月29日:4週間分)

疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	1	0.00	0.00		12	麻疹	98	0.33	0.24	↘
2	咽頭結膜熱	145	0.48	0.33	↑	13	流行性耳下腺炎	314	1.05	1.15	↘
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	195	0.65	-	↘	14	急性出血性結膜炎	9	0.11	0.09	
4	感染性胃腸炎	714	2.38	1.77	↘	15	流行性角結膜炎	140	1.75	2.01	↘
5	水痘	267	0.89	1.16	↘	16	急性脳炎	1	0.01	-	
6	手足口病	530	1.77	2.10	↗	17	細菌性髄膜炎	0	-	0.01	
7	伝染性紅斑	200	0.67	0.29	↘	18	無菌性髄膜炎	24	0.29	2.49	↑
8	突発性発疹	240	0.80	0.80	↘	19	マイコプラズマ肺炎	11	0.13	-	
9	百日咳	4	0.01	0.06		20	クラミジア肺炎	4	0.05	-	
10	風疹	12	0.04	0.15	⇒	21	成人麻疹	0	-	-	
11	ヘルパンギーナ	2,452	8.17	3.63	↗	「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)					

急増減	増減	微増減	横ばい
↑	↗	↘	⇒
↓	↘	↗	
前月と比較しておおむね1:2以上の増減	前月と比較しておおむね1:1.5~2の増減	前月と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	殆ど増減なし(発生件数少数のものを含む)

定点について

定点情報は、定点把握対象の四類感染症(週報対象21疾患,月報対象7疾患)について、県内186の定点医療機関からの報告を集計して作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD 定点	基幹定点	合計
対象疾患 No.	1	1~13	14, 15	22~25	16~21, 26~28	
定点数	44	75	20	26	21	186

この情報は、「<http://www.pref.hiroshima.jp/fukushi/kenkou/kansen/index.html>」のホームページに掲載しています。
全国情報については、「<http://idsc.nih.go.jp/>」に
インフルエンザホームページは、「<http://influenza-mhw.sfc.wide.ad.jp/>」に掲載されています。

疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
22	性器クラミジア感染症	59	2.27	1.88	⇒	26	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染	160	7.62	-	↗
23	性器ヘルペスウイルス感染症	14	0.54	0.67	⇨	27	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	24	1.14	-	↘
24	尖圭コンジローム	12	0.46	0.2	↗	28	薬剤耐性緑膿菌感染症	8	0.38	-	
25	淋菌感染症	36	1.38	1.00	⇨	「過去5年平均」：過去5年間の同時期平均（定点当り）					

咽頭結膜熱 急増（6月43件 7月145件）
 無菌性髄膜炎 急増（6月9件 7月24件）

2 一類・二類・三類感染症及び全数把握四類感染症発生状況

- 一類感染症 発生なし
- 二類感染症 発生なし
- 三類感染症（腸管出血性大腸菌感染症） 15件発生
 （尾三地域保健所管内0157 3件，備北地域保健所管内026 9件，福山市0157 1件，広島地域保健所管内0157 1件，呉市OUT 1件）
- 全数把握四類感染症 6件発生（急性ウイルス性肝炎2件（A，B型），劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件，後天性免疫不全症候群1件，梅毒1件，バンコマイシン耐性腸球菌感染症1件）

3 ヘルパンギーナ

先月から急増したヘルパンギーナは、主として乳幼児に流行する夏かぜの一種ですが、先月の1,528件（定点当り5.09）から更に増加し、2,452件（定点当り8.17）となっており、流行発生警報の開始基準値の定点当り6を超えています。注意が必要です。

ヘルパンギーナ（水疱性咽頭炎）の予防

コクサッキーAウイルスによる急性のウイルス感染症で、感染者の鼻・のどの排泄物及び糞便との接触か、又は飛沫により感染します。従って予防対策としては、ヒトとヒトとの接触を少なくすること、手洗いなど日常の衛生保持が大切です。

参考図書：感染症予防必携（（財）日本公衆衛生協会'99）

4 麻疹（はしか）

件数，（ ）内定点当り件数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
38 (0.13)	57 (0.19)	170 (0.45)	275 (0.92)	373 (0.99)	177 (0.59)	98 (0.33)

4月頃から流行していた麻疹も、だいぶ減ってきましたが、次の保健所管内では定点当り0.5以上と引き続き多発しています。

東広島地域（0.5），福山地域（1.13），福山市（1.33）

麻疹ワクチンの予防接種により、予防できます。予防接種を忘れずに受けましょう。